



# 退任に寄せて

2020. 3. 24 (火)  
佐賀県立唐津西高等学校

## 田代 保則(英語科)

皆さんとは授業での交わりはありませんでしたが、部活と保健の仕事でお世話になりました。西高には計16年間勤務しました。教員生活の3の1以上に当たり、私にとって西校は母校以上の存在です。最後に校歌を皆さんと歌いたかったです。誇れよ 西校、鍛えよ 西校、我らの西校、本当にいい校歌です。

素晴らしい皆さんとこの学校で共に過ごせて私は本当に幸せでした。ありがとうございました。

## 田中 幸樹(国語科)

今回、私の一身上の都合で退職することといたしました。多くの仕事を途中で投げ出すことになり、申し訳なく思っています。特にボート部の皆さん。本当に申し訳ありません。でもインターハイ、国体目指してしっかり頑張ってください。世の中がこのような状況で、思い通りにいかないことも多々あるでしょう。しかし苦しいとき、困ったときこそその人の本質が問われるときです。お互い頑張っていきましょう。お元気で。

## 北島 寿人(教頭)

人が生きていくためには三つの養分が必要です。一つは栄養、一つは休養、そして最後の一つ、【教養】です。辞書には「教えられ、養っていくもの」と載っています。教養は、皆さん達一人ひとりが社会とかかわり、経験を積み、知識や知恵を獲得する過程で身に付けられます。大切なのは成長段階に応じて身に付けなければならないということ。様々な経験を通して、自己と対話しながら一つ一つ整理し、自分の心に行動の基準とそれを支える価値観を構築していくのです。十分な栄養をつけ、程よく休養し、しっかりと教養を身に付け、幸せな将来のイメージがもてるよう、日々過ごしてください。お世話になりました。お元気で

## 西村 久美(数学科)

学校でも社会でも、目立つ人ばかりに注目が集まりがちですが、世の中は、それ以外の人で成り立っていると私は思います。部活動でレギュラーが活躍できるのも、様々な学校行事が成功するのも、目立たないところで地道な作業をやってくださるたくさんの生徒たちのおかげだと思っています。それらは誰かの係の仕事ではないし、名前のついて

いる仕事でもありません。誰がやってもいいけれど、誰かがやらなければならない仕事です。引き受けてくださっているたくさんの生徒のみなさんへのお礼をお別れの言葉にします。ありがとうございました。

## 長濱 良平(英語科)

時間はあっという間に過ぎていきます。そして、何が起るか、誰にも予測できない未来がそこにあります。自分の人生は自分で決断し、自分で行動することで、自分の幸せをつかんでください。みなさん、お元気で。  
P.S. リスニング力の養成には『ラジオ英会話』を。連携しているアプリ「NHKゴガク」を利用して、毎日15分のトレーニングを。

## 浦方 夕可利(芸術科:美)

在校生のみなさん、短い間でしたがお世話になりました。母校で勤務できたことは私の教員人生の中でとても思い出深い経験になりました。事務室前には私が大学院生時代に寄贈したしろくまの彫刻作品があります。まだ見たことがない人は是非事務室前に行ってみてくださいね。最後に美術部の3人へ……それぞれが持っている個性をこれからも磨き、キラリと輝けるように頑張ってください。また、練習会で会いましょう！！お元気で。

## 瀬戸 英智(理科)

3年間という短い期間ではありましたが、生徒の皆さんのおかげで楽しい時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。遠くからですが、これからも皆さんのことを応援しています。

## 徳廣 彩佳(芸術科:書)

この2年、新2・3年生の1の3担任・学年団として全員と関わることができてよかったです。ありがとうございました。  
—学生時代を思い出して懐かしがるのは構わないが、あの時は良かったな、オアシスだったな、と逃げるようなことは絶対に考えるなよ。そういう人生を送るなよ。伊坂幸太郎「砂漠」より中学校が楽しかった… 受験や勉強辛いな、去年に戻りたい… そう思う時こそ「今」を充実させるための挑戦をしてみてください。皆さんの活躍を期待しています！

## 宮崎 亜土武(数学科)

新3年生へ  
高校生活ラスト1年。この学年でよかったなと思える一年間にしてください。応援しています。  
2-2の皆さんへ  
たくさんの笑顔をありがとう。本当に楽しかった一年でした。これからも仲間を大切にね。

サッカー部の皆さんへ

仲間とサッカーができる残りの期間を大事にしてください。今以上に一生懸命できる時期はありません。頑張ってください。総体応援に行きます。

唐津西高校の皆さんへ

皆さんと出会えて幸せな時間でした。ありがとうございました。

**栗原 望(数学科)**

今年度で、教職に就いて10年となりました。そのうちの半分の5年間、母校である唐津西高校で過ごすことができました。笑顔でいつも手を振ってくれた人、沢山質問をしてくれた人、『数学頑張ります』と言ってくれた人、本当に嬉しかったです。みんなと話すのが大好きで、いつも授業の5分前には教室に行っていました。職員室まで鍵を取りに来てくれた人と、話しながら教室に行くのも楽しみでした。みんなのこれからが、笑顔溢れる毎日になることを願っています。最後に、毎日懸命に練習をしていたソフトテニス部へ。努力した日々を自信に変えて、最後までしっかり自分たちのプレーができるように応援しています。

**小山 洋一(地歴・公民科)**

1年間という短い間でしたが、お世話になりました。授業は1年生の現代社会と2年生の地理を担当しましたが、授業で関わりのない皆さんも元気に挨拶してくれる姿が印象に残っています。特に車で登校坂を登ってくるときに、立ち止まり振り向いて挨拶してくれる姿にはいつも感心していました。今後は教育センターから皆さんの活躍を見守っていくつもりです。目標の実現に向けて頑張ってください。

**川原 勝重(地歴・公民科)**

西高生の皆さん、授業中に寝てはいけません。授業中に寝ることは、先生と、クラスの仲間と、保護者と、学問と、時間と、自分自身に対する裏切りだ。授業中に、寝てはいけません。

そして、バドミントン部の皆さん。君たちは僕の青春。なかなか練習に行けなかったけど、部活動はとても楽しかった。上手になっていく姿を見るたびに、こっそり感動していた。では、近い将来か遠い未来に、再会しましょう。最後に、無限の愛情をこめて「ふう、やれやれまったく」

**長野 誠道(芸術科:音)**

「旅をしない作曲家は不幸だ」

古典派を代表する作曲家の一人でもあるモーツァルトの言葉です。

私も学生のときにオーストリア・ウィーンを拠点として5か国7都市をまわりました。皆さんもたくさんの経験を積み、素敵な人生を歩んで行ってきてください。

**江口 美幸(保・体科)**

母校である唐津西高校で働くことができ、とても嬉しかったです。中学校が同じだからと先輩と呼んでくれる生徒たちもおり、楽しく充実した毎日を過ごさせてもらいました。部活も前半は陸上部、後半はバレー部をもっておりましたが、どちらの部活も明るく可愛い生徒たちばかりで、私たちがいたころの西高と違って穏やかで素直な生徒たちが多いように思いました。短い間ではありましたが、ありがとうございました。

**北島 稔久(地歴・公民科)**

「心して見る。そして、尋ねてみる。すると、幾通りもの答えが出てくる。幾とおりのもの、ものの見方があることがわかってくる。」とは、松下幸之助の言葉です。十人十色という言葉もあります。いろいろな考え方があり、個性があるのです。そんなこと分かっていると言われそうですが、言葉を発する前に、自分とは考えが違う人が聞いたらどう思うか、と自分の中で整理してから話をして下さい。そうすれば言葉による問題は防ぐことができると思います。相手を思いやる気持ちを大切にしてください。

**近藤 健(事務)**

生徒の皆さんとは、登校道路や校内ですれ違う時の挨拶、事務室での鍵のやり取り、掃除の時間くらいしか接する機会がありませんでした。でも、事務室の中で仕事をしているとき人、廊下から聞こえてくる皆さんのにぎやかな声に元気をもらったような気がします。

一年という短い期間ではありましたが、お世話になりました。ありがとうございました。

